

民報あばしり

NO.1011
2015・3・15
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
電話 四三・四四五八
F 四三・四四五七

3・8国際女性デー網走集会 開かれる

3・8国際女性デーは1908年、アメリカの女性労働者がパンと参政権を求めて立ち上がったのが始まりです。国連は1975年以来「国際女性デー」と位置づけ、女性の社会参加の環境を整備するよう加盟国に呼びかけています。

網走集会には30人が参加して「どうなるの？網走の介護。どうしたい私たちの介護」「原発―再稼働と被ばくの今」「戦後70年あらためて平和を考えよう」の3つのテーマにわかれて自由に語り合いました。

「介護保険料がまた上がる」「職員の待遇はどうなるの」「知らないことがどんどん進められていく」といった介護保険制度の改悪による不安の声が次々と上がります。



4年目をむかえる東日本大震災・原発事故でいまだに22万9千人もの避難生活を強いられている人たちの現状の中、「再稼働なんてとんでもない」「何を食べたらいいの」から「政府自体を変えろ」「大きな視点までもたなければ」という参加者の意見にみんな大きく

領いていました。

また「あなたにとっての平和は？」の問いかけに「武力で解決しない社会」「食べたり学んだり仕事をするなかで幸せだと感じることのできる社会」などと語り合いました。

参加した菊地候補の「父親が徴兵されトラウマで行った。すぐ隣にいた戦友が死んだ。ふとしたことで怒りを爆発させる父親に戦場での体験の深い傷を思う」という言葉に皆が頷く場面もありました。

最後に「戦争のつくりかた」の群読で集会は終了しました。参加者からは「今の安倍政権がすめられていることを絵に描いたような本ですね」と感



菊地ひろし
あまりの雪に道幅が狭くなり、定時の街頭宣伝を1週間延ばすことにしました。9日の宣伝に宣伝カーを出しましたが、事務所前は30cm程のわだちで、宣伝カーは倒れそうになりながらもやっと出すことが出来ました。

さて私のいる町内会では、毎年会館の屋根の雪下ろしをしています。今年もすることになり私も参加しました。少しの暖気で積もった雪は重く、足腰がガクガクと痛くなってしまいました。今年の市の除排雪にかかった経費だけで5億円と聞きます。地球温暖化の影響と思われる雪害が頻繁に来るようになり、少子高齢化社会の安全をつくる国や道・自治体の対応がいよいよ重要になってきているのではないのでしょうか。

松浦有哉メモ

今年の冬はどうしたのでしょうか。今年になつて吹雪がなかった週が何週あっただろうか。正確には分かりませんが、3週か4週しかないのではないのでしょうか。

3月議会の準備をしながら後援会員や支持者訪問をしています。「雪が多くて道路が狭くて車を止めるところがない、歩いても足元がぬかるんで思うように歩けない、先週は吹雪の後の暖気で雪道がザクザク、車がまっすぐ進まず右へ左へ揺られ、腸ねん転になりそう」などと言いつつながら支持を訴えて回りましたが、とても疲れました。

市議会も代表質問が終わって、12日から新年度予算を審査する予算等審査特別委員会が行われていますが頑張ります。

流水

手元に診察カードが15枚ある。札幌3枚、北見5枚、網走7枚。そのうちの5枚は今年に入ってから。医療費が上がって今年1月から今日まで2万3500円支払った。これからあまり病院の会計前に立ちたかない。▼去年の8月から子どもの医療費が中学生まで入院無料になった。これは子どもの医療費について新婦人の粘り強い請願署名により実現した。全国的には46年

もかかって都道府県すべてで実施された。これは嬉しいことである。さらに通院の無料化の拡充の署名運動を続けて願いがかなうように運動している。▼今年の9月、合唱団あばしりが第30回の定期演奏を予定している。4ステージの内、組曲の林光ソング集「混声3部合唱」の中で一番気に入っている曲は「願い」という歌である。「小さな川に赤い花流そう 岸辺に咲いた名も知らぬ願い」 冬の間空うつる、流れていくよ もひとつの願い： 明日も一つ赤い花流そう」ワルシャワ労働歌のメロディーがところどころに入ってきて歌を盛り上げている。合唱曲の各パートの音を感じながら歌う喜びがひろがっていく。毎週毎週練習を重ねているが暗譜をするところまではまだ行かず、努力中である。▼人の願いは簡単に実現するものでもない。子ども医療費の事も時間がかかったし、合唱も時間をかけ、音と音のつながりをつくり上げていく。時間をかけていくことで願いが実現していくと思